

女性のための 定期検診のご案内

婦人 がん検診



今年で40歳、
私もそろそろ検査した方が
いいのかしら？

一歩進んだ検査と熟練の専門医が
あなたの元気をサポート

乳がん検診

検診では、専門医による視触診に加え、ご希望の方にはマンモグラフィという乳房X線撮影や超音波検査をおこないます。

【マンモグラフィ】(乳房レントゲン検査)

触診では触れることのできないがんを描出するマンモグラフィ。乳房を片方ずつ、フィルムを入れた台と透明なプラスチックの板に挟み込み、うすくのばした状態で撮影します。



【超音波検査】

乳腺の発達した30歳代の方におすすめしたい検査です。乳房にゼリー状の液体をぬってプローブ(超音波を出す探触子)をあて検査をおこないます。

子宮がん検診

頸がん

子宮の入口に発生する子宮頸がん。検診では、婦人科専門医による内診と細胞診(スミアテスト)をおこないます。頸がんの原因ウイルスであるHPV(ヒトパピローマウイルス)検査をオプションとしておすすめします。

体がん

子宮の奥の方に発生する子宮体がん。エストロゲンを長期に使用している、不正出血がある、月経が不規則である、などの症状がある人は、迷わずに子宮体がん検診をお受けください。

卵巣がん検診

卵巣は直接検査するには困難な位置にあるため、かなり進行して大きな腫瘍になるまで発見が難しい臓器です。しかも、はじめはほとんど自覚症状がありません。そのため、超音波と腫瘍マーカーを組み合わせた早めの検診が必要です。

骨粗しょう症 予防検診

元気な老後、
寝たきりなんてイヤ!



すこやかなシルバーエイジへの準備、
始めませんか？

超音波(エコー)による測定

超音波によるかかとの骨密度の測定で食事制限や痛みはまったくなく検査時間は約5分。検査後は、整形外科医師による専門外来と運動療法・食生活指導をご用意しています。



こんな人はぜひ検査を!

- ・閉経前後の人
- ・運動不足の人
- ・牛乳や乳製品が苦手な人
- ・やせすぎの人
- ・高齢で骨折が心配な人
- ・カルシウム不足の人

ご質問、詳しい内容、料金については
右記までお問い合わせ下さい。

検診計画部 TEL.045-641-8502



たしかめましょう健康
公益財団法人 神奈川県予防医学協会

乳がん検診のすすめ

—— 中央診療所にご来診いただく方へ ——

乳がん検診には

視触診

乳房レントゲン検査
(マンモグラフィ)

乳房超音波検査

があります。

■ 受診のめやす

～35歳

40歳

50歳～

視触診

乳房超音波 + 視触診

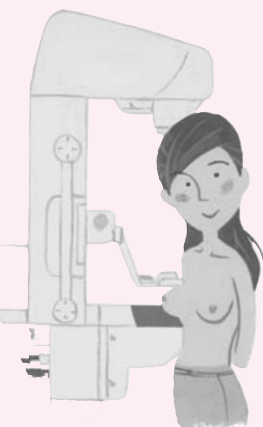
2年に1回マンモグラフィ + 視触診

当協会では乳がん検診で精度を高めるために従来から視触診と乳房レントゲン検査または超音波検査の併用をお勧めしております。

※この図はあくまでもめやすです。ご希望により30歳代の方もマンモグラフィを受診できます。医師と相談のうえマンモグラフィは毎年受診することも可能です。

乳房レントゲン検査 (マンモグラフィ)

X線撮影による、この検査法は乳がんの初期症状の1つである石灰化や腫瘍などを写し出します。また、マンモグラフィは過去のフィルムと、そのつど比較できるため検査に適しています。ただし、マンモグラフィは乳腺とがんを白く写し出すため、乳腺とがんの見分けがつきにくく、乳腺の少ない50歳以上の女性により適した検査法になりますが、40歳代でも有効性はかなり高いと考えられます。



当協会の医師・技師・施設(中央診療所)は日本乳癌学会・日本乳癌検診学会など6学会で構成される「マンモグラフィ検診精度管理中央委員会」による認定を受けています。

乳房超音波検査

超音波検査は、人間の耳には聞こえない音を臓器に当てて、その反射してくる様子を画像にあらわす方法です。マンモグラフィが苦手とする乳腺の発達した30歳代などの若い女性や授乳婦にお勧めする検査法です。



また、マンモグラフィでは写し出しにくい小さな腫瘍にも有効です。

ご質問、詳しい内容、料金については
右記までお問い合わせ下さい。

検診計画部

TEL.045-641-8502



たしかめましょう健康

公益財団法人 神奈川県予防医学協会

〒231-0021 横浜市中区日本大通58 日本大通ビル
<http://www.yobouigaku-kanagawa.or.jp/>



当協会では、個人情報を正確かつ安全に取り扱い、保護・管理に万全を期すため「個人情報保護に関する方針」を定め、個人情報保護管理責任者の設置をはじめとした「個人情報保護管理規程」に則り個人情報の保護に努めてまいります。